

あおもり

2020

2

February

No.179



表紙：制作テーマ
光る個性、選べる魅力

作：柿崎 こうこ（かきざき こうこ）
青森市生まれ。1996年よりフリーランスの
イラストレーターとして雑誌・広告・書籍などを
メインに活動。

CONTENTS / 目次

【特集】
「多様性」が切り拓く
「選ばれる青森」▶P2

【連載】
地域から魅力発信！
「ハッピー♡リレー」〈上北地域〉/
地域の旬食材レシピ ▶P6

青森の未来に全力！県職員最前線レポート
「あなたの力を、待ってます。」求む、消防団員！/
4月から原則屋内禁煙となります。/
冬季企画展
「三内丸山ムラが一番おおいかったころ」▶P7

申吾のほっとコラム/
あおもりインフォメーション ▶P8

「選ばれる青森」の実現をめざしましょう。

「多様性」を生かし、青森県の価値が国内外から
県民の皆さんにも、今回の特集を通じて、まだまだ
知らない青森県の魅力に触れ、広く発信していだ
きたいと思えます。

グローバル化が進み、様々な価値観が共存、共有され
るようになった時代にあつて、気候、文化、言葉など
の今なお際立つ地域の個性は、青森県の「多様性」と
して、食や観光をはじめ、各分野で大きな強みと
なっています。

県内6エリアのご当地自慢やそれぞれの地域での
チャレンジを紹介します。

グローバル化が進み、様々な価値観が共存、共有され
るようになった時代にあつて、気候、文化、言葉など
の今なお際立つ地域の個性は、青森県の「多様性」と
して、食や観光をはじめ、各分野で大きな強みと
なっています。

この豊かな地域資源を生かし、地元に着目した地域
づくりを進めていくため、県では2007（平成19）年度
から、県内に6つの地域県民局を設置しています。今回
の特集では、各地域県民局の若手職員がおすすめする
県内6エリアのご当地自慢やそれぞれの地域での
チャレンジを紹介します。

1871（明治4）年に廃藩置県が行われたとき、
現在の青森県域には、弘前藩、黒石藩、八戸藩、七戸藩、
斗南藩の5つの藩がありました。様々な個性を持つ
5つの藩がまとまって生まれた青森県は、美しい自然、
新鮮で安全な農林水産物、祭り、特産品をはじめ、
多様な地域資源を誇っています。

「多様性」が切り拓く
「選ばれる青森」



ご当地自慢 その2 地域の食



【東青地域】**トマト加工品**
蓬田村産トマトの旨味が凝縮したケチャップなどの加工品が評判!



【中南地域】**農のふれカフェ**
地元の野菜や果物を使った料理やスイーツを味わえ、収穫体験も楽しめます。



【三八地域】**食用菊**
地元の特産品・食用菊で商品化。菊ジャム、菊サイダー、菊がゆなどに注目!



【西北地域】**しじみラーメン**
しじみラーメン発祥店の味に限りなく近い仕上がりのお土産用ラーメンを開発。



それぞれ違った味わいの刺身5点盛りがおすすめ



【上北地域】**上北そば**
地産地消活動を加速させるために夏そばを開発。香りが豊かと評判。

【下北地域】**東通天然ヒラメ刺身重**
活締め・神経締めされたヒラメの食べ比べができる東通村の新・ご当地グルメ。

ご当地自慢 その4 体験



【上北地域】**冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー**
ライトアップされた夜の奥入瀬渓流の自然景観美が楽しめます。



【東青地域】**海上アクティビティ**
ウォータースポーツのSUPやシーカヤックで、海上から浅虫の湯の島などを眺めるひと味違ったアクティビティ。



【三八地域】**「八戸出張スマート本」でまちあるき**
仕事の空き時間に八戸出張者のための観光ガイドブックを利用して、観光スポット巡りやまちあるきができます。



【西北地域】**モールウォーキング**
健康維持、運動不足解消に向けてイオンモールつがる館で歩き方を学ぶイベント。



【下北地域】**海峡ロデオ大畑**
網起こしなどの漁獲体験、むつ市大畑町産のサケ・マスを食べ比べが堪能できます。



【下北地域】**古津軽の「鳥居の鬼コ」**
津軽の神社30以上の鳥居にいる「鬼コ」探しや「宵宮」に出かけ、古き良き津軽の風習や信仰、暮らしぶりを体感。

ご当地自慢 その3 グラフト

【中南地域】**古津軽の「祝亀」**
わらで編まれた亀。古代から栽培されたとされる「紫箱」をつかったもの。



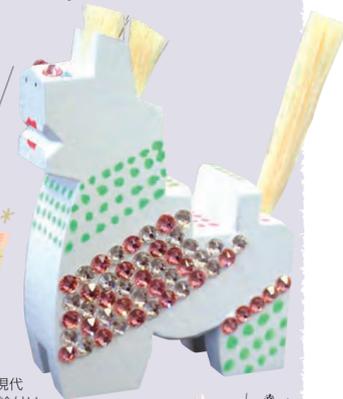
【下北地域】**日本三大美林「青森ヒバ」**
耐久性・抗菌性に優れた青森ヒバの木製品はお土産にもおすすめ。



【東青地域】**浮き玉**
漁具として活躍している浮き玉がお洒落なインテリア用品に大変身!



【三八地域】**八幡馬**
伝統工芸品を現代風にアレンジ。絵付け体験でオリジナル八幡馬を作ろう!



【上北地域】**ウマジン**
地域活性化のために開発した馬頭状の被り物。2014年、グッドデザイン賞を受賞。アートステーショントワダにおいてあり、かぶれます。

Topic! この時期のオススメ!



【西北地域】**NPO法人津軽半島観光アテナント推進協議会**(津軽半島全域の観光PR)津軽弁を生かした観光ガイドに注目! ストープ列車にも乗車中!



【中南地域】**スノーアート(冬の田んぼアート)**
広大な雪上に足跡でアート作品を描く、冬の注目観光コンテンツ。

柿崎こうこの知らなすぎるふるさと

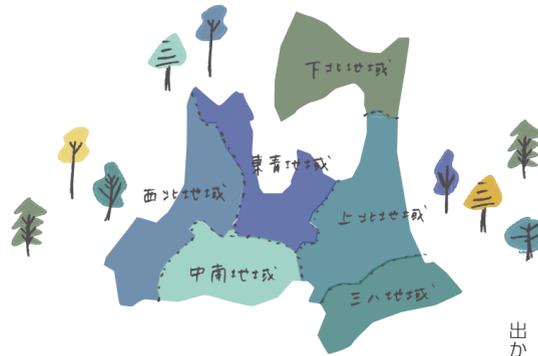
一昨年の冬、県民局の依頼でござん刺しと津軽塗の取材をしたことがあります。21歳で青森を離れた私は、これらの産地である弘前市内をゆっくりと巡るのはこの時が初めて! 工場の職人技に見惚れ、街並みや美味しい食材に感嘆しとても新鮮な旅でしたが、青森を知らなすぎることを寂しくも思いました。時間をかけて県内をくまなく巡ることをしてみたい、今後の密な楽しみです。

柿崎こうこイラストレーター、青森生まれ。食をはじめ、旅、美容、健康などライフスタイルをテーマとしたイラストが人気。雑誌、広告、書籍などを中心に活躍中。柿崎こうこHP/YouTubeチャンネル / https://www.kakizakikoko.com @kakizaki_koko_illustration @kakizaki_koko



地域県民局とは…

県内を大きく6つの地域に分け、それぞれの地域資源を活用しながら魅力的な活力ある地域づくりを進めるために設けられた県の出先機関。



特集 「多様性」が切り拓く「選ばれる青森」

県内6エリアのご当地自慢!

全国的にも珍しい地域色豊かな青森県。地域県民局と各地域が一丸となって生み出した地域の魅力が満載!

青森県は、大きく6つの地域(エリア)に分けられます。それぞれの地域特性を生かした農産物、地元の気候・風土が生み出した伝統食や工芸品、各地に点在する自然景観などその地域ならではのものが、各地域に置かれた地域県民局が地域の方々と各都市町村と連携し、観光客を呼び込む魅力的なコンテンツをつくり、地域の目玉となる農産物やご当地メニューの開発、地域の人が心地よく豊かに暮らすための環境整備、さらに魅力あふれる地域として活性化を図るため、地域に密着したさまざまな事業を展開しています。今回は、これまで地域県民局が関わってきたもののなかから、テーマごとに一部紹介します。あらためて各地域の特色を見直し、各地域の魅力を味わい、体感し、出かけてみませんか?

ご当地自慢 その1 大地と海の恵み



【西北地域】**シャインマスカット**
種なしで皮ごと食べられる、糖度が高く酸味が少ない大粒がどう。9月下旬~10月下旬が旬。



大人気のさどうです。甘くてジューシー!



【東青地域】**マツカワレイ**
青函トンネルの湧水を使って龍飛崎で養殖。ブランド化&販路拡大中。年中食べられます。



南ごたえと旨味は想像以上…

【上北地域】**野辺地葉つきこかぶ**
皮ごと食べられ、フルーツのような甘みと柔らかさが特徴。6~10月が旬。



【下北地域】**風間浦鮫鱈**
生きたまま水揚げされる新鮮な鮫鱈は、全国でも珍しい刺身で味わえます。12~3月が旬。



【三八地域】**ジュノハート**
可愛いハート型で、最大級サイズは500円玉を超えます。2020年に全国デビュー! 6月末~7月上旬が旬。

私たちがご紹介いたします!

各地域県民局ナビゲーター

- 【東青地域県民局】**工藤 祥平**
バドミントンで鍛えたフットワークを活かし地域の皆さんとにぎわいづくりに励んでいます。
- 【中南地域県民局】**塩崎 麻衣**
インバウンド観光とSNS情報発信が担当の新人。皆さんのサポートのおかげで仕事も楽しめています。
- 【三八地域県民局】**八木橋 大希**
野球とお酒が大好きで晩飯が日課。おいしいお酒と食の Paradise である三八地域の魅力発信に奮闘中。
- 【西北地域県民局】**三ツ井 悠希**
この時期のイチオシは、ストープ列車と車内で飲む日本酒! おいしいご飯、温泉、自然風景を満喫中。
- 【上北地域県民局】**石岡 聖良**
一歩外に出ると地域から教えられることが山ほど! 休日、夕方の道具(内職)作りなど下北食材を堪能!
- 【下北地域県民局】**福田 直樹**
下北の地域づくり計画を推進中。休日、夕方の道具(内職)作りなど下北食材を堪能!

未来に向かう西北型水田農業推進事業

スマート農業を導入し、
稲作農家の「稼ぐ力」をアップ!



中泊町十三湖地区では、大型機械が効率的に作業できる水田の大区画化(約100メートル四方)や排水路の整備が進められています。農家の高齢化・担い手不足に対応し、一経営体当たり100ヘクタールを超える大規模経営体系の構築に取り組むため、20ヘクタールの水田で最新鋭のスマート農業機器を使った実演会や、経営データの収集を行いました。

農業の最先端技術に感動!

今年は、直進田植機、自動水管理装置、農業散布ドローン、食味・収量センサ付コンバインの実演会を3回実施。高精度で省力的な農作業をまのあたりにし、大勢の参加者からは感嘆の声があがっていました。



直進田植機
手放して運転する「パワーアシスト」

少しでも多く稼ぐ力を養いたい

農林水産省「スマート農業実証プロジェクト」(事業主体:農研機構)の支援により実証を行い、GPSを使いほ場を平らにするGPSレベラー、ロボットトラクターなどの検討を進めます。最先端技術を導入することで水田農業を進化させ、稲作農家の稼ぐ力の向上を目指します。



自動水管理装置
スマホで水を水はかりしりめりの「パワーアシスト」

【問い合わせ先】西北地域県民局地域農林水産部 ☎0173-35-2345



「いつまでも住み続けたい」東青地域づくり担い手確保支援事業

この地に住み続ける一人ひとりの
「すき。」を動画で配信中!



東青エリアには、「訪れてみたい」「住んでみたい」魅力がたくさんあります。そんな「すき。」になる魅力をUIターンなどで移住した方々や、地元の若手農業者・漁業者の方々と「一人ひとり」の「過去・現在・未来」にスポットを当てながら動画で紹介。昨年11月からウェブサイトやYouTubeチャンネルで配信しています。

心動かされると評判の動画!

この動画は、首都圏で開催する「移住相談会」や東青地域出身者の交流会など県外でのPR活動にも活用しています。昨年11月に開催した「ラブ・いまべつ会東京交流会」では、動画を見た参加者から「移住者の方が今別の魅力をよく知っている」、「県外の人もきっと、移住体験をしたくなる」という意見や感想をいただきました。



第2弾も配信予定、乞うご期待!

県外から移住し、浅虫水族館でイルカのトレーナーをしている方や、人気洋菓子店、ベーグル店を夫妻で経営している方々を紹介する動画を2月中に配信予定です。



【問い合わせ先】東青地域県民局地域連携部 ☎017-734-9412

動画は公式サイト
YouTubeチャンネル

地域の魅力を活かした 県内6地域それぞれの挑戦

地域県民局と地域が連携し、自分たちが暮らす地域に誇りを持ちながら常に新たな魅力を発掘・発信しています。気候や風土、食文化など、全く違った6つの特色をもつ集合体だからこそ、青森県は面白い!

下北地域関係人口構築事業

下北地域と継続的に関わる
地域外の人々を増やしたい!



県内でも特に人口減少率が高い下北地域では、移住・定住の推進が大きな課題。そこでまずは「関係人口」を増やすことが効果的だと考えます。「関係人口」とは、地域外に住みながら、さまざまな形で地域内に暮らす人々と継続的な関わりを持つ人々のことです。地域を支える新たな担い手となったり、将来的に移住・定住へつなげる可能性もあるため、受入体制の整備を進めています。



「関係人口」への関心を高める

まずは、県外から講師を招き「関係人口」に関する基礎知識や先進事例などを学ぶセミナーを開催。市町村担当者や地域住民にとって、「関係人口」と共に行動地域づくりを考えるきっかけとなりました。

「関係人口」とつながり、移住・定住へ

「関係人口」が長く気負わず訪れることができる地域づくりに向けて、地域外からの希望者を受け入れる体験プログラムを実施する予定です。一人でも多くの「関係人口」を増やし、移住・定住へと進んでいくよう、市町村と連携しながら取り組み、下北地域の活性化を目指します。



【問い合わせ先】下北地域県民局地域連携部 ☎0175-22-1195

中南津軽「うるしの森づくり」推進事業

「津軽塗」を支える国産漆の
安定供給をめざして!



県を代表する伝統工芸品の津軽塗や国宝・重要文化財建造物の修理などに必要とされる国産漆の需要が高まっていることから、漆資源の確保が課題となっています。そこで、県や弘前市、津軽塗の関係団体が、漆資源に関する情報を共有するための連絡会議を設置。ウルシの苗木づくりや、森林所有者向けにウルシへの理解を促す津軽漆体験ツアーを開催するなど、漆を安定供給できるよう「うるしの森づくり」に取り組んでいます。

今春からウルシの植栽

2年間の苗木づくりを経て、今春から地域の方々の協力を得ながら植えていく予定です。また、津軽漆体験ツアーでは、「ウルシを植えたい」、「津軽塗の素晴らしさを知った」などたくさんの応援の声をいただきました。



漆の採取は15年後

漆の採取は苗木を植えてから、15年程の年月を要します。今後はさらにウルシの適正な保護管理方法や漆掻きに必要な技術習得支援など、持続的に漆生産を支えることで漆産業を活気づけ、地域経済の活性化につなげたいと考えています。



【問い合わせ先】中南地域県民局地域農林水産部 ☎0172-33-3857

歴史を紡ぐ三八地域広域観光事業

歴史・文化遺産とそれらにまつわる食を
融合したオリジナル観光コンテンツを開発!



三八地域には、中世南部氏にゆかりのある歴史・文化遺産が数多く存在しており、各地でそれらを観光に活用する機運が高まってきています。ますます増える歴史観光の需要に応えるため、三八地域の歴史・文化遺産と、それらにまつわる食などを融合した歴史観光コンテンツを開発します。また、広域観光の視点から、関係団体の取組の連携や受入環境の整備を行いながら情報発信に取り組めます。

【問い合わせ先】三八地域県民局地域連携部 ☎0178-27-3936

関係者が集い、意見交換を実施

歴史観光コンテンツの開発に向けたワークショップでは、三八地域で活躍しているボランティアガイドや市町村、観光関係団体の方々からさまざまなアイデアが出され、活発に意見が交わされました。

欧米豪からの誘客がさらなるミッション

三八地域の歴史観光コンテンツと、三八地域と深い関わりのある岩手県北の歴史観光コンテンツを組み合わせた広域モデルルートの作成や、歴史・文化遺産への関心が高い欧米豪からの誘客に取り組んでいます。



十和田湖奥入瀬エリアを核とする上北インパウンド観光客受入体制整備事業

外国語ガイドを育成し、地域の魅力を
より深く、外国人観光客に伝えたい!



上北地域は、十和田湖・奥入瀬に代表されるように自然豊かな地域です。最近では、台湾など外国からのお客も増え、豊かな自然を満喫するようになってきました。ところが、地域には外国語を話せるガイドが少なく、外国のお客様に地域の魅力を十分に伝えることが出来ていません。そこで、地域で外国語を話せる人財を対象にガイドスキルを身につけるための「外国語ガイド養成講座」を開催し、外国語ガイドの育成に努めています。

研修によって、外国語ガイドが誕生!

今年度は、奥入瀬渓流で研修を行いました。英語を中心に13名の方が講座を修了して外国語ガイドになるための基礎を学びました。講座修了者の一部は、冬の現地ツアーで外国語ガイドを務めるなど活躍が期待されています。

英語、中国語など新たな受講者を募集

今後は地域の関係団体などと協力しながら、今年度講座修了者のガイドスキルの向上を支援すると共に、需要の高い中国語を中心に新たな受講者を募り、地域の外国語ガイドの充実化を目指す予定です。

【問い合わせ先】
上北地域県民局地域連携部 ☎0176-22-8194



地域から魅力発信! ハッピー♡リレー

vol.11 | 上北地域

みさわ古民家裂き織り体験工房
— 三沢市 —

地域の旬食材
レシピ付

0歳から80歳までが集う、 人がつながる古民家



左から、馬場はるみさん、伊藤愛子さん、清水すず菜さんとひな実ちゃん



裂き織り体験してみませんか?

裂き織り体験のほか、お手玉、パッチワーク、編み物、刺し子、かごバックなどの制作体験もできます。

〔場所〕三沢市岡三沢1丁目1-87(桂温泉隣の古民家)

〔日時〕毎週木・金・土曜日

〔時間〕10:00~12:00 / 13:00~15:00

※月2回、定期的に体験教室を開催。

詳しくは、[みさわ南部裂き織り](#)

〔問合せ〕tel 080-3145-4071(担当:馬場)

Profile

みさわ古民家裂き織り体験工房

まちづくりワークショップで出た意見をきっかけに活動が始まった交流施設。高齢者と若い人の交流の場をつくるほか、国内外からの観光客の来訪スポットにもなっている。100年以上守られてきた古民家に織り機を設置し、日本ならではの雰囲気味わえるところも好評。



「仕事を引退した高齢者の、居場所をつくってあげたい。若い人と高齢者、子供が交流できる温かい場所をつくりたい。」そう夢を語る馬場はるみさんが始めたのは、地域の伝統文化である南部裂織を体験できる工房。

空き家となっていた古民家を活用し、コースターや名刺入れなど、毎日使えるものづく

「この魅力は、南部裂織などの地域ならではの文化が学べるだけでなく、集まる人との触れ合いが自然に出来ること。おばあちゃんに育てのアドバイスをもらったり、寒い時期のおすすめレシピを教えてもらったり、ここに出会う皆さんは親切でとても

りの体験を提供しており、最近では海外からのお客さんも立ち寄るスポットになっています。

そして、体験工房は、地域の人にとっては買い物ついでに気軽に立ち寄れる場所として親しまれており、当初、馬場さんが抱いていた夢のとおり、裂き織り体験だけでなく、人と人のつながりを生む場となっています。

三沢市在住
じょうぼうじ あさお
浄法寺 朝生さん

5回の推薦者



15年前に三沢市にUターンした経営者。地域課題解決を事業にし、商店街の空き店舗活用や、学生~社会人の起業支援、地域で魅力ある仕事づくりに取り組む。青森の魅力を発信するサイトの運営を通して県内を走りまわっている。

赤ちゃんから、外国人、主婦など多様な人が集まり、人がつながる古民家。

世界に一つしか無い南部裂織と同じように、ここにしか無い魅力が生まれているのかもしれない。

居心地が良い。」と話してくれたのは利用者のひとり、清水すず菜さん。0歳の子供を連れて毎週通う、ファンの一人です。

月2回開催される体験教室では季節に合わせた制作体験ができる。



浄法寺さんが選ぶ
地域の旬食材

シャモロック



シャモロックと 根菜の照り焼き

エネルギー:278kcal・塩分1.5g (1人分)

【材料:4人前】

鶏もも肉 300g
レンコン 150g
ながいも 100g
パプリカ(赤・黄) 各1/4
塩、こしょう 少々

【A】

しょうゆ 大さじ2
酒 大さじ2
みりん 大さじ1
きび砂糖 大さじ1

【作り方】

- 1 鶏もも肉は一口大にカット。レンコン、ながいもは、皮を剥いて一口大の乱切りに。パプリカも大きさを揃えてカットする。
- 2 調味料Aを混ぜ合わせておく。
- 3 フライパンに鶏もも肉を入れ、軽く塩、こしょうをふって皮面から焼きはじめる。
- 4 中火で3、4分焼き、こんがり焼き目がついたら裏返し、塩、こしょうを軽く振ってさらに2、3分焼く。
- 5 フライパンの隙間に、レンコン、ながいもを入れて炒める。
- 6 パプリカと2を入れ、煮詰めながら炒めて完成。

鶏の照り焼き
アレンジスープカレーの
完成!



3日間は、
冷蔵保存OK!
カレー粉とトマトジュースで
スープカレーに変身!



食育料理家
フードクリニック「なぎさカフェ」
オーナーシェフ

なぎさなおこ

八戸市在住。病気予防の食事をコンセプトにした旬のやさしいたっぷりの家庭料理が人気の「なぎさカフェ」を経営。食育や調理指導など講師として全国で活動中。

このレシピは
アメブロ☆幸せなぎさごはん
にも掲載しています。

レシピアレンジの詳細はFacebook

f 青森県広報広聴課

Healthy Point

- 油をつかわずヘルシー!
- 根菜たっぷりで腸内スッキリ!

なぎさPoint

レンコンやながいもの代わりに、冷蔵庫にある野菜を組み合わせてもOK。

「あなたの力を、待っています。」 求む、消防団員!



消防保安課
よしだ けい いち ろう
吉田 圭一郎

消防関係の業務に携わりまもなく1年。消防団員の確保に貢献するため、日々奮闘中です!

自分たちのまちは、自分たちで守る

私は、多くの方々に消防団活動を知っていただくためのPR活動を進めています。

消防団は火災や災害から地域の安全と安心を守る中核的な役割を果たしていますが、消防団員のみなさんは、普段は別の仕事をしながら、いざという時には現場に駆け付けるなど、自分たちのまちを、自分たちで守るために活躍しています。

しかし、青森県の消防団員数は少子高齢化等の影響により、平成元年度の22,069人から、今年度は18,271人にまで減少しており、このままでは将来的に消防団機能が維持できなくなることも懸念されます。

「We are 女性消防団員!」

このように県全体の消防団員数が減少する中、実は女性消防団員の数は増加しています。平成

元年度には53人であった女性消防団員ですが、今年度にはなんと500人に達し、過去最高の人数となりました。

消防団活動は「男性がやるもの」というイメージが強いかもしれませんが、火災予防の呼びかけや広報活動、防火・防災講習など、女性消防団員が活躍している場面が数多くあります。

そこで、より多くの女性の方々に消防団に入団していただけるよう制作したのが、女性消防団員と三村知事による対談動画です!今回出演していただいたのは、県内で活躍



する3名の現役女性消防団員のみなさん。「入団したきっかけは?」「どんな活動をするの?」「仕事や家事・学業との両立は?」「やりがいを感じたことは?」、そんな「生の声」が詰まった動画をぜひご覧ください!

青森県の消防団PR特設ホームページでは、消防団の活動などを紹介した、様々な動画を公開しています。詳しくは、右記のQRコードからアクセスを!



詳しくは、 消防保安課 ☎017-734-9086

4月から原則屋内禁煙となります。

マナーからルールへ。なくそう! 受動喫煙。

「望まない受動喫煙」をなくすために、2018年7月に健康増進法が改正されました。

この改正を受けて、2019年7月1日からは「学校、病院、保育園、行政機関等で原則敷地内禁煙」となり、**2020年4月1日からは「オフィスや商業施設・宿泊施設・飲食店等で原則屋内禁煙」となります。**

県民の皆様も受動喫煙防止のご協力をお願いします。

Q 受動喫煙を法律で規制する理由はなんですか。

A 喫煙と同様に受動喫煙も肺がんや脳血管疾患などのリスク因子となるためです。

Q 飲食店では喫煙スペース、禁煙スペースとこれまでの分煙対策はできなくなるのですか。

A 資本金が5,000万円以下でかつ客席面積が100㎡以下の国が定めた基準を満たす飲食店では、飲食を提供するスペースを全面喫煙可能、全面喫煙不可と選択できます。ただし、全面喫煙可能とした場合には、20歳未満の者(従業員を含む)を店内に立ち入らせることはできません。

Q 法律に違反した場合には、罰則はありますか。

A 施設の管理権原者等は、20万円から50万円以下の過料に処せられます。

詳しくは、厚生労働省HP「なくそう!望まない受動喫煙。」 がん・生活習慣病対策課 ☎017-734-9216

冬季企画展「三内丸山ムラが一番おおきかったころ」

縄文時代前期~中期の1,700年もの長きにわたって営まれた三内丸山ムラ。ムラが一番大きくなる中期中頃には周辺にも次々にムラがあらわれます。本展では、三内丸山ムラとその周辺の具体的な姿に迫ります。



【会期】

1月18日(土)~3月15日(日)
休館日:1月27日(月)、2月25日(火)
観覧時間:9:00~17:00(最終入館16:30)

【場所】

三内丸山遺跡センター

【観覧料】

無料
遺跡を含む常設展の入場料で観覧できます。
大人410円、高校生・大学生200円、中学生以下無料

【同時開催】

発掘調査速報展「さんまる速報展! 2019」

平成28年度から発掘調査が続く遺跡北端部の調査成果を中心に紹介します。普段は見られない調査中の写真や出土遺物と共に遺跡北端部のなぞを読み解きます。

【関連イベント】

三内丸山遺跡報告会

◎日時:3月14日(土) 13:30~15:30
今年度の発掘調査など最新の研究成果を発表します。
申込み不要。直接会場にお越しください。

ギャラリートーク

◎日時:会期中の土日祝 13:30~
3月14日(土)は遺跡報告会終了後、15:30から実施
※詳細はチラシやHPをご覧ください。

詳しくは、 三内丸山遺跡センター ☎017-781-6078



世界に開かれた2つの窓

青森県知事 三村 申吾

1 ソウル(仁川)路線

いよいよこの4月でソウル便は就航25周年を迎える事となりました。これまで路線維持には山あり谷ありでしたが、本当に多くの県民の皆様が利用し、応援してくださいました。

さあ、2月。キンキンに凍てつく冬のソウルの楽しみは、ぬくぬくの地元食堂で食べる冷麺だと「ツウ」の方は言いますが、自分的には、熱々・辛々のジャガイモと骨付豚のカムジャタン、或いは若鶏をぐつぐつ煮込んだ健康に抜群のサムゲタンです。ああ食べたい。

そして2~3月は旅のチャンス。2泊3日ニ・キュ・パ(29,800円)の得々パックがあります。しかし、卒業旅行や春のツアーを計画中の皆様には、断然、超隠れコンテンツ、桜ツアーがおすすめです。

3月下旬、真っ先にワンポッコ(王桜)が微笑むのが済州島。済州桜祭りが開催されます。

3月末には、古都慶州が開花。ここには仏国寺や石窟寺院があります。私も以前、県民の翼で訪問した際は感動しました。

4月になると各地で桜が開花し、ソウルの街中は至る所が桜、桜、桜。景福宮や汝矣島の花祭りがお薦め。

さて、日本のお花見は桜の下で食べて呑んで盛り上がりますが、韓国のお花見は、桜並木をゆるりゆるりと歩いて楽しめます。

そんな文化の違いを感じながら、スイーツ王国ならではのお餅と伝統の柚子茶・ナツメ茶をいただくと、ほんのり春爛漫♪

2 台北(桃園)路線

昨年7月17日に2便でスタートも、あまりの盛況に秋は増便で空席を補い、11月2日からの冬ダイヤは、青森の冬や雪が大好きな台湾の方々の思いに応じて週5便での運航となりました。さらに3月29日からの夏ダイヤが週4便と発表され、台湾側からの旺盛なインバウンドパワーで、大変順調です。しかし、この2つ目の窓を維持発展させるのは県民の皆様のお力あってこそ!!インとアウトのバランスが程よくなって、安定した路線となります。

昨年12月には、大学や銀行、商工団体、県等で構成される産学官金ラウンドテーブルが台湾の経済界と合同で台北で行われました。りんごや観光等の付き合いが経済の場面で深化することとなり、直行便効果の凄さに驚いています。

私達は今、正味3時間半のフライトで台湾に行けます。まず、台北の小籠包やマンゴー、ブームのタピオカの「食」を感じるところから始めて、夜市や故宮博物館で台湾の「文化」を知り、次は高鐵(新幹線)でつながる台中・台南・高雄といった古都の佇まい、キュートな街々を訪ねていただければ幸いです。

県民の皆様が自分の台湾を見つけ、周りに発信いただくことで、さらに多くのの方が台湾を旅してくださると期待しています。

この2つの窓を多くの県民の方々が活用くださり、「世界を知ることはふるさと青森を再発見すること」につながると確信します。

もうすぐ春。旅、してみませんか。

第80回国民スポーツ大会愛称・スローガンロゴデザイン決定!!

2025年に青森県で開催予定の第80回国民スポーツ大会の愛称・スローガンのロゴデザインを制作しました。

今後、このロゴデザインを広く活用し、「青の煌めきあomorいん国スポ」開催に向けた準備を進めていきます。



詳しくは、県庁HP [あomorいん国スポ](#) [Q検索](#) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会事務局 (国民スポーツ大会準備室内) ☎017-734-9703

あomorいんKAWAIIギフト知っていますか?

県では、青森県産の食に関連する「あomorいんKAWAIIギフト」の認定を行っています。

「KAWAII=かわいらしい」だけでなく、「きれい」や「オシャレ」のような多様な意味を含めて「KAWAII」として県内商品の募集を行い、審査の上、認定を行っています。

認定商品は、公式Instagramで順次紹介していますので、あomorいんKAWAII商品のラインナップをご覧ください。いただいた上で、県内土産店やHPで探してみてくださいね。あomorいんKAWAIIギフトHP Instagram



あomorいん KAWAIIギフト



詳しくは、[あomorいん KAWAIIギフト](#) [Q検索](#) 総合販売戦略課 ☎017-734-9573

犬又は猫の譲渡前講習会開催

青森県動物愛護センターでは、センターから犬又は猫の譲渡を希望している方を対象に、譲渡前講習会を開催しています。

■日時：毎月第1土曜日及び第3日曜日 10:00~11:30

■場所：青森県動物愛護センター(青森市大字宮田字玉水119-1)

■対象：一般県民 ■料金等：無料 ■事前申込み：不要



ふれんど君

詳しくは、[青森県 新しい飼い主](#) [Q検索](#) 青森県動物愛護センター ☎017-726-6100

夫(妻)やパートナーからの暴力(DV)に悩んでいませんか?

ひとりで悩まずに、気軽にご相談ください。(相談無料、秘密厳守)

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは? 一般的に、配偶者やパートナーなど親密な関係にある(あった)相手からの暴力のことをいいます。DVは著しい人権侵害であり、決して許されることではありません。

相談窓口	電話番号	受付時間
青森県女性相談所	017-781-2000	月~金 8:30~20:00 土日祝 9:00~18:00
DVホットライン	0120-87-3081	毎日(24時間) ※緊急通報専用
青森県男女共同参画センター	017-732-1022	木~火 9:00~16:00 (年末年始を除く)
東地方福祉事務所	017-734-9951	月~金 8:30~17:15
中南地方福祉事務所	0172-33-3211	月~金 8:30~17:15
三戸地方福祉事務所	0178-27-4435	月~金 8:30~17:15
西北地方福祉事務所	0173-35-2156	月~金 8:30~17:15
上北地方福祉事務所	0176-62-2145	月~金 8:30~17:15
下北地方福祉事務所	0175-22-2296	月~金 8:30~17:15

こどもみらい課 ☎017-734-9303 ※各地方福祉事務所の受付は、祝日・年末年始を除きます。

みなさんと県庁を結ぶ
県政インフォメーション

テレビ ■RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ■RAB「大好き、青森県」(第三日曜日)17:00~17:15 [放送週が変更になることがあります] ■ATV「みんなの県庁!」(土)16:55~17:00 ■ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35
ラジオ ■RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35 ■エフエム青森「あomorいんふぁん」(月)~(金)16:55~17:00 ■エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」(第一日曜日)7:00~7:30
新聞 ■「広報あomorいん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報
HP/Twitter ■県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ■青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあomorいん」は偶数月発行です。※点字版・録音版をご希望の方は広報広聴課までお知らせください。
発行 ※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあomorいん」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。

この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.4円です。